

授業科目名	コーチング論演習	単位数	2
担当教員名	與名本 稔、秋澤 一輝	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</li> <li>・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</li> <li>・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</li> </ul>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>コーチングを行う上で基本となる計画、運営、模範などについて深く学び、現在、抱えている問題を解決しながらさらにコーチングを追求できるようにすることを到達目標とする。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>現代社会においてコーチ（指導者）に求められるものは多岐にわたる。目紛しく変化する社会の中でスポーツの占める役割は大きい。また、スポーツ指導者を取り囲む環境も大きく変化している。コーチング論ではスポーツにおける指導者の社会的役割を認識し、その上でコーチ（指導者）の役割と使命を把握する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：スポーツとコーチ（指導者）の現状</p> <p>第2回：現代社会におけるスポーツ</p> <p>第3回：現代社会におけるコーチ（指導者）</p> <p>第4回：我が国のスポーツプロモーション</p> <p>第5回：理想とされるコーチ（指導者）</p> <p>第6回：コーチ（指導者）の心構えと視点</p> <p>第7回：スポーツ参加者の目的 競技力向上を中心にして</p> <p>第8回：スポーツ参加者の目的 参加志向型を中心にして</p> <p>第9回：スポーツ参加者の目的 自己達成との関係について</p> <p>第10回：現代における体罰や暴力等ハラスメントについての検討</p> <p>第11回：スポーツと心にかかわる諸問題</p> <p>第12回：動機づけ（モチベーション）とコーチング</p> <p>第13回：現代社会とスポーツにおける今後の課題</p> <p>第14回：スポーツ現場における心理的な課題</p> <p>第15回：コーチ（指導者）の心理的な取り組み</p> <p>定期試験</p>			

スクーリングでの学修内容

スポーツ参加者の目的やスポーツと心などの現代社会とスポーツの関係を読み解いていくこと  
によって、現代社会に求められるコーチ（指導者）を理解する  
（主に第1回～第4回を中心に横断的な内容を含む。）

教科書

なし

参考文献

なし

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。